



# 株式会社大林組



## 株主の皆様へ

取締役社長

聯村典夫



株主の皆様には、いよいよご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

はじめに、公共工事を巡る談合事件により、株主の皆様にご多大なご心配をおかけしましたことを心から深くお詫び申し上げます。当社といたしましては、再発防止に向けて法令遵守の徹底を図り、信頼の回復に努めてまいります所存でございますので、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 事業の経過及びその成果

平成18年4月1日から平成19年3月31日までの第103期の事業概要についてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、公共投資が引き続き低調に推移し、個人消費の伸びに鈍化が見られたものの、企業収益の改善を背景とした民間設備投資の増加などに支えられ、景気は回復を続けました。

国内の建設市場におきましては、民間工事の発注は引き続き増加しましたが、公共工事の発注は減少が続き、受注環境は総じて厳しい状況となりました。

このような情勢下にありますと、当期における当社グループの連結業績につきましては、売上高は前期比6.2%増の約1兆5,679億円となり、利益の面では、営業利益は前期比1.9%増の約475億円、経常利益は前期比4.8%増の約533億円となりました。また、当期純利益につきましては、総資本の効率的な運用を図る観点から固定資産の売却を行ったことなどにより前期比17.9%増の約406億円となりました。なお、当社グループの事業別売上高は、建設事業約1兆4,712億円、不動産事業約795億円、その他事業約171億円であり、その構成比は、建設事業93.8%、不動産事業5.1%、その他事業1.1%となっております。

当社グループの事業別の概況は、次のとおりであります。

#### (建設事業)

当社グループの建設事業受注高につきましては、大林USAや台湾大林組など海外子会社の受注高が増加したものの、当社受注高は減少いたしましたので、前期比0.6%減の約1兆4,460億円となりました。

このうち当社の受注高は、前期比5.9%減の約1兆1,946億円となりました。その内訳は、土木工事が前年に海外の大型工事を受注した反動などにより前期比36.7%減の約2,012億円、建築工事が前期比4.3%増の約9,934億円であります。

次に、当社グループの建設事業売上高につきましては、当社売上高が減少したものの、海外においてタイ大林、大林USAなどの売上高が増加し、国内においてオーク設備工業株式会社、大林ファシリティーズ株式会社などの売上高が増加いたしましたので、前期比3.1%増の約1兆4,712億円となりました。

このうち当社の売上高は、前期比0.2%減の約1兆2,405億円となりました。その内訳は、土木工事が前期比7.1%減の約2,704億円、建築工事が前期比1.9%増の約9,700億円であります。

#### (不動産事業)

不動産事業につきましては、当社における大型不動産物件の売却等や、大林不動産株式会社における販売不動産収入の増加が寄与し、グループ全体の売上高は前期比111.6%増の約795億円となりました。

このうち、当社の不動産事業は、上記の理由により売上高は前期比127.8%増の約709億円となりました。

#### (その他事業)

その他事業につきましては、PFI事業を営む子会社において、施設の運営維持管理収入等が増加したことなどにより、グループ全体の売上高は前期比51.8%増の約171億円となりました。

### 対処すべき課題

#### (コンプライアンスの徹底)

当社は、違法行為の再発防止に向けて、引き続き全社を挙げてコンプライアンスの徹底を図ってまいります。

具体的には、コンプライアンス・プログラムとして策定した「独占禁止法遵守プログラム」の個々の施策を一つ一つ確実に実行するとともに、その運用状況を点検し、見直しするためのPDCAサイクルを実践いたします。また、監査役会は、「談合等監視プログラム」に基づき、会社の執行体制とは独立した第三者の視点

から法令遵守のモニタリングを実施いたします。

さらに、本年6月28日開催の定時株主総会において、株主様からのご提案に基づき、談合行為は一切行わない旨を会社の根本規則である定款に定めました。これらの取り組みを実践することにより、健全な企業風土を持つ「新生大林組」を創り上げてまいり所存であります。

#### （利益創出力の強化）

今後のわが国経済は、原油価格の動向など懸念すべき要因はありますが、民間設備投資が引き続き増加すると予想されることから、景気は回復を続けるものと思われます。

しかしながら国内の建設市場におきましては、官庁、民間工事とも受注競争が一段と激化していることから、工事利益の確保は容易ではなく、利益創出力を強化することが当社グループの喫緊の課題であります。

その実現のために、提案力、コスト競争力、技術力をさらに強化し戦略的に営業活動を行うとともに、購買業務の見直し、施工の効率化、経営管理の効率化等を徹底して行うなど、受注から生産に至るすべての段階において各職場が「現場力」を高め、利益創出を図ってまいります。

また、グループ間の連携を深めることで、グループ全体の経営資源をより有効に活用し、各社の収益基盤の拡充を図るとともに、グループの開発技術やノウハウを活かした新規事業などを推進いたします。海外の建設事業についても積極的に取り組む方針であり、特に有望な建設市場である米国ではM & Aによる事業拡大も視野に入れながら、グループ全体の収益力向上を目指してまいります。

当社グループといたしましては、これらの経営課題に全力で取り組み、真に社会から信頼される企業集団を目指すとともに、十分な利益を確保していくことで企業価値の向上を図り、株主の皆様のご負託に応えてまいり所存であります。

平成19年6月

## 重要な子会社の状況

会社名	住所	資本金	当社の 出資比率	主要な事業内容
大林道路株式会社	東京都墨田区	6,293 <sup>百万円</sup>	40.04%	道路工事等の土木工事、建築工事、資材等の製造・販売
株式会社内外テクノス	東京都新宿区	150 <sup>百万円</sup>	100%	建築工事、造作建具工事、内外装工事、資材等の販売・賃貸
大林不動産株式会社	東京都新宿区	1,170 <sup>百万円</sup>	100%	不動産の所有・売買・貸借・管理・鑑定・仲介、損害保険代理業
タイ大林	バンコック	10,000 <sup>千タイバーツ</sup>	49.00%	建築工事、土木工事、資材等の販売、不動産の所有・売買・貸借・管理・仲介
株式会社オーシー・ファイナンス	東京都港区	200 <sup>百万円</sup>	100%	金銭の貸付、債務の保証、有価証券の保有・運用、債券の買取
大林USA	ロサンゼルス	26,362 <sup>千US\$</sup>	100%	建築工事、資材等の販売、不動産の所有・売買・貸借・管理・仲介
オーク設備工業株式会社	東京都千代田区	300 <sup>百万円</sup>	100%	空気調和・クリーンルーム・衛生消火等の設備工事
大林ファシリティーズ株式会社	東京都千代田区	50 <sup>百万円</sup>	100%	建物・設備の総合管理、建築工事、労働者派遣、事務業務の受託

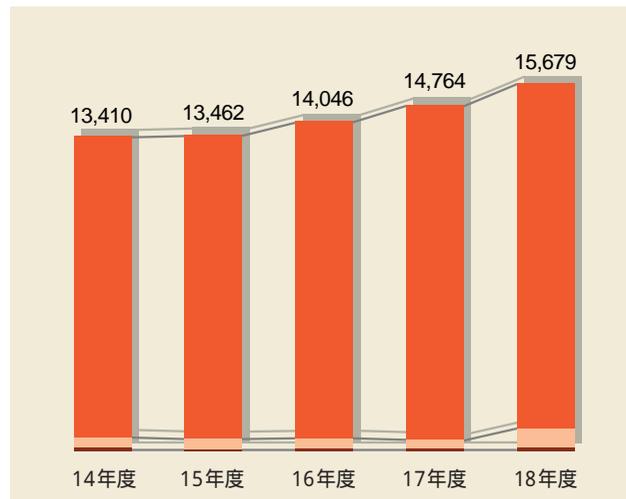
## 連結業績の推移

(単位：百万円)

区分	第99期 (平成14年度)	第100期 (平成15年度)	第101期 (平成16年度)	第102期 (平成17年度)	第103期 〔当期〕 (平成18年度)
売上高	1,341,003	1,346,297	1,404,640	1,476,424	1,567,960
経常利益	29,908	41,940	52,576	50,859	53,320
当期純利益	3,124	21,193	25,076	34,489	40,652
1株当たり当期純利益	4円27銭	29円42銭	34円81銭	47円89銭	56円46銭
総資産	1,948,578	1,821,883	1,842,262	1,977,295	2,066,984
純資産	260,359	344,273	364,301	486,017	565,456

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数(自己株式数を控除した株式数)により算出しております。

■ 売上高の推移 (単位: 億円) ■ 建設事業 ■ 不動産事業 ■ その他事業



■ 経常利益の推移 (単位: 億円)



■ 当期純利益の推移 (単位: 億円)



## 当社単体の部門別受注高・売上高・繰越高

(単位：百万円)

区 分		前期繰越高	当期受注高		当期売上高		次期繰越高
				構成比 %		構成比 %	
建設事業	土 木	618,836	201,230	16.0	270,489	20.6	549,577
	建 築	1,087,952	993,433	79.3	970,078	74.0	1,111,307
	計	1,706,789	1,194,663	95.3	1,240,567	94.6	1,660,885
不 動 産 事 業 等		16,372	58,466	4.7	70,913	5.4	3,926
合 計		1,723,161	1,253,130	100	1,311,480	100	1,664,811

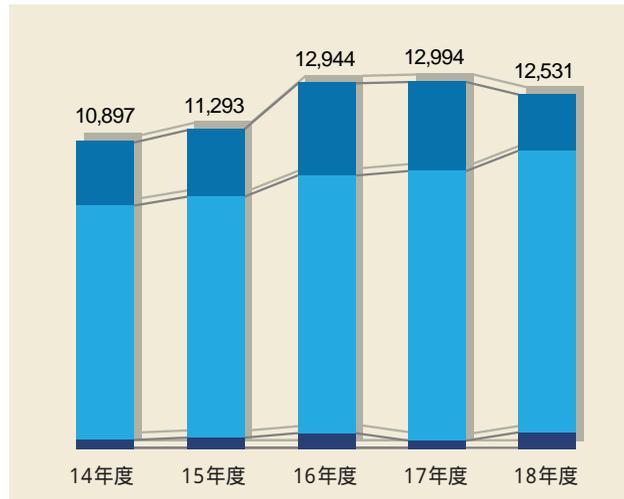
## 当社単体業績の推移

(単位：百万円)

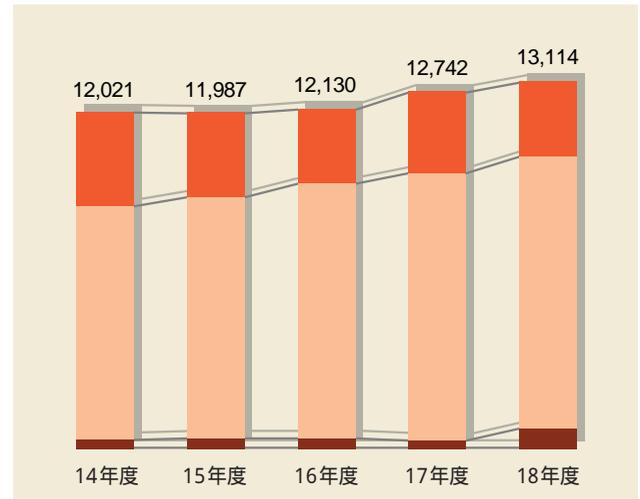
区 分	第99期 (平成14年度)	第100期 (平成15年度)	第101期 (平成16年度)	第102期 (平成17年度)	第103期 〔当期〕 (平成18年度)
受 注 高	1,089,718	1,129,312	1,294,472	1,299,400	1,253,130
売 上 高	1,202,173	1,198,757	1,213,074	1,274,204	1,311,480
経 常 利 益	26,189	38,127	47,115	43,889	43,605
当 期 純 利 益	2,914	19,116	22,405	28,376	29,499
1株当たり当期純利益	4円 4銭	26円52銭	31円 9銭	39円40銭	40円97銭
総 資 産	1,702,482	1,559,316	1,585,185	1,710,229	1,779,486
純 資 産	254,195	335,620	352,885	470,186	515,328

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数(自己株式数を控除した株式数)により算出しております。

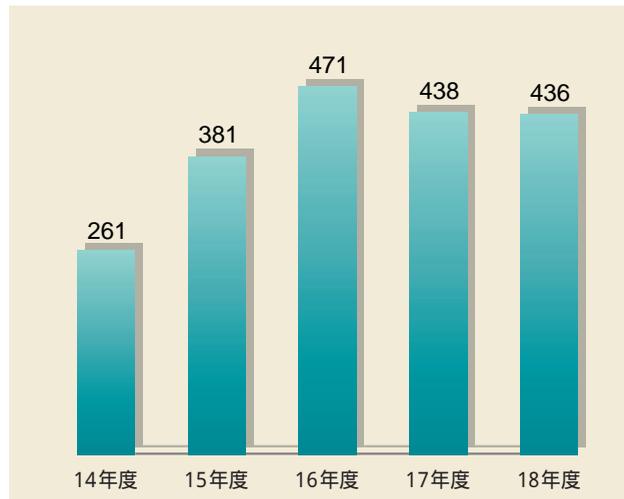
■受注高の推移 (単位: 億円) ■ 土木 ■ 建築 ■ 不動産事業等



■売上高の推移 (単位: 億円) ■ 土木 ■ 建築 ■ 不動産事業等



■経常利益の推移 (単位: 億円)



■当期純利益の推移 (単位: 億円)



土木・建築の分野で常にわが国の建設業界をリードする大林組グループ。  
その数々の成果は、国内外で高い評価を得ています。  
「建設は未来へおくるメッセージ」大林組グループはそう考えます。



住友不動産三田ツインビル西館(東京都)



キャンノン下丸子新開発棟(東京都)



トヨタ・バンポー工場(タイ)



富士ソフト秋葉原ビル(東京都)



ドリームタワーキュアレジデンス(埼玉県)



首都高速中央環状新宿線中落合トンネル(外回り)(東京都)



中木庭ダム(佐賀県)



カテリーナ三田 タワースイート(東京都)

はタイ大林の完成工事、その他は当社の完成工事です。

## 「コンプライアンス・プログラム」に基づき職場研修を実施

当社は、談合事件の反省を踏まえ、「コンプライアンス・プログラム」に基づき、コンプライアンスの徹底のため様々な施策を実施しています。今般、その具体策の一つとして、常設部門をはじめ、全国約1,000ヶ所に点在する工事事務所や海外事務所にいたるまで、全役職員を対象とした企業倫理職場内研修を実施しました。

各職場においては、法令遵守のみならず、社会的責任を果たすために企業が持つべき倫理観、いわゆる「社会常識」、「良識」についても対話形式で研修を行いました。企業倫理の徹底のため、「大林組企業行動規範」に定める行動指針について、各々の職場でケーススタディを行うことにより、企業倫理に対する知識と意識を深めました。

また、各人は「迷ったときのセルフチェック」が記載された倫理カードを常に携帯し、自らの行動を折りに触れ確認し、業務を進めるうえでの指針とします。

今後も当社は、コンプライアンスの徹底のため個々の施策を一つ一つ確実に実行し、健全な企業風土を持つ「新生大林組」を創り上げていきます。

### 大林組企業行動規範 — 企業倫理の徹底 —

- 1 法令遵守及び良識ある行動の実践
- 2 公正な入札の実現
- 3 政治、行政との健全で正常な関係の確立
- 4 反社会的行為の根絶
- 5 企業会計の透明化と適正な情報開示

私たちは、建設業が持つ社会的責務の重要性を強く認識し、単に法を遵守するにとどまらず、社会的責任を有する企業として良識をもって行動します。

迷ったときのセルフチェック

あなたのその行動は

- 法律に違反していませんか？
- 社会常識から逸脱していませんか？
- 当社の企業理念や企業行動規範、ルールに違反していませんか？
- 顧客や取引先、職場の仲間からの信頼を裏切ることになりませんか？
- 家族や友人、大切な人に自信を持って話すことができますか？

署名

株式会社 大林組

企業倫理携帯カード



企業倫理職場内研修の様子

### 企業倫理の確立に向けて

～企業倫理職場内研修テキスト～

企業倫理委員会事務局  
(東京本社総務部)

平成28年4月作成

株式会社 大林組

**はじめに**

「企業倫理」は、もともと法令を遵守することです。社会的責任を有する企業が持つべき倫理観といえます。いわゆる「良識」「常識」というものであり、企業が広く社会から信頼を得てその存在意義を認められ、事業を営むことには不可欠なものです。

当社は、「個人情報保護プログラム」や「経理・税務管理システム」など、建物以上に信頼を築くべきと考えています。これらの認識を基として「企業倫理」及び「企業行動規範」を作り、社会からの信頼、信頼性、入札の競争力向上に貢献する企業倫理観を、社員一人ひとりに共有することを掲げます。【印刷範囲】

企業倫理

企業理念

1 法令遵守及び良識ある行動の実践

2 公正な入札の実現

3 政治、行政との健全で正常な関係の確立

4 反社会的行為の根絶

5 企業会計の透明化と適正な情報開示

「大林組企業行動規範」では、企業倫理の確立のために取りうる行動指針を掲げています。

1. 法令遵守及び良識ある行動の実践
2. 公正な入札の実現
3. 政治、行政との健全で正常な関係の確立
4. 反社会的行為の根絶
5. 企業会計の透明化と適正な情報開示

企業倫理職場内研修用教材

## 阪神甲子園球場リニューアル工事を受注

### —生まれ変わる甲子園球場—

阪神タイガースのフランチャイズ球場として、また高校野球の聖地として、幾多の名勝負の舞台となった阪神甲子園球場。当社は、このたび、大正13年の開設以来80年以上経過し、施設の老朽化が進んでいた同球場の全面リニューアル工事を受注しました。躯体や外壁の耐震補強、観客席の拡幅などを、プロ野球や高校野球のシーズンオフに集中的に行うことにより、シーズン中のプレーに影響を与えることなく、安全性や快適性を高めます。

この工事では、ツタ、大銀傘といった同球場独自の「歴史と伝統の継承」をコンセプトとしております。工事のために一旦伐採するツタは、あらかじめ種を採取して苗木に育てるなど、リニューアル後も伝統の姿を再生します。また、内野席の大部分を覆う大銀傘は、2008年シーズンオフの短期間のうちに撤去と新設工事を同時に行うことにより、シーズン中には常に変わらぬ姿で観客席を覆います。こうして、長年親しまれてきた球場の歴史と伝統に配慮して施

工を行います。

生まれ変わった阪神甲子園球場で、また新たな熱戦が繰り広げられます。



外観（完成予想イメージ）



スタンド（完成予想イメージ）

## 鳥根あさひ社会復帰促進センター整備・運営事業(PFI事業)を受注

当社は、鳥根あさひ社会復帰促進センターの整備・運営を行うPFI事業を代表企業として受注しました。この事業は、刑務所施設を設計・建設し、その後約18年間にわたり維持管理・運営を行うもので、総事業費は約900億円にもなる大規模な事業です。当社グループの大林ファシリティーズ(株)もそのノウハウを活かし、維持管理・運営に参画いたします。

当社を代表企業とするコンソーシアムは、受刑者の円滑な社会復帰を支援するため、盲導犬の訓練などユニークな矯正教育や職業訓練を取り入れたり、ITを活用した最新の警備システムを導入するなど、従来の刑務所にはない革新的な提案を行い、高い評価を受けました。

また、施設建設には石州瓦や県産の木材など地場産品を使用し、施設運営にあたっては、積極的に民間の人材を活用して雇用を創出するなど、地元経済への貢献度が高いことも評価を受けた要因となりました。

当社グループは、今後もPFI事業のリーディングカンパニーとして、質の高い公共サービスを実現していきます。



庁舎・収容棟・職業訓練棟  
（完成予想イメージ）



職員宿舎・地域開放施設（完成予想イメージ）

## 近江八幡市立総合医療センター建設工事の取り組みが 3R推進功労者等表彰で国土交通大臣賞を受賞

当社は、近江八幡市立総合医療センター建設工事(平成18年4月竣工)で取り組んだ環境保全活動が評価され、「平成18年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」で国土交通大臣賞を受賞しました。

この賞は、循環型社会の実現に向けて3R(リデュース=廃棄物の発生抑制、リユース=再使用、リサイクル=再資源化)に率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている団体等を表彰するものです。

受賞した同センター建設工事は、当社グループが開業後30年間にわたって病院の維持管理・運営業務を行うPFI事業です。環境負荷低減を目指して、CO<sub>2</sub>排出量やライフサイクルコストの抑制に配慮して設計するとともに、継続して使用可能な医療活動の場を提供できるように建設を進めてきました。また、施工中はゼロエミッション活動に取り組むなど、設計段階から施工段階まで、様々な3R活動を行ってきました。

当社は、今後も引き続き、全社をあげて環境保全活動に取り組んでまいります。



近江八幡市立総合医療センター



表彰式の様子

## アートヴィレッジ大崎が竣工

3棟の超高層建物を中心に、オフィス、商業施設、居住空間の調和を目指した大規模再開発プロジェクト「アートヴィレッジ大崎」(大崎駅東口第3地区第一種市街地再開発事業)が竣工しました。

当社を代表とするコンソーシアムは、再開発組合から特定業務代行者として事業を受託し、コーディネーター業務から設計、施工そして保留床の取得にいたるまで、主体的にプロジェクトを推進してまいりました。

左側「アートヴィレッジ大崎セントラルタワー」は、オフィスがメインの業務棟であり、右側「アートヴィレッジ大崎ビュウタワー」は、28階建ての賃貸住宅棟です。業務棟では、当社が開発したABC S工法(全天候型の全自動ビル建設システム)と従来の工法を組み合わせ、大幅な作業の省力化と高い安全性を実現しました。また、賃貸住宅棟では、建物の中央吹抜部分に柱を集中的に配置する構造に免震構造を組み合わせ、350m<sup>2</sup>を超える無柱空間を実現して開放的な居住スペースを創り出しました。

今後も大規模プロジェクトの受注に向けて、当社の総合力を活かして、積極的に営業展開していきます。



アートヴィレッジ大崎セントラルタワー



アートヴィレッジ大崎ビュウタワー

## グループ会社から

### (国内関連)

#### －ハイアット・リージェンシー・オーサカに 新しいチャペルがオープン－

当社グループのホテル ハイアット・リージェンシー・オーサカに新しいチャペル「eternity」がオープンし、大阪ベイエリアの話題のスポットとなっています。「どこにもないチャペルを」という建築家 青木淳氏の設計コンセプトのもと、結晶をイメージした無数に組み合わせられた白いリングで屋根を支え、斬新かつ独創性のある空間が生まれています。愛を誓い合う場であるチャペルは昼は陽光を受けて明るく輝き、夜は水面に幻想的に浮かび上がります。

#### －画像診断クリニックの開設・運営支援を行う新会社を設立－

有望市場である医療分野への取り組みとして、当社がプロパティマネジメント事業として行っている医療モール運営のノウハウを活用し、画像診断クリニックの開設・運営支援を行うオーク・ヘルスケア(株)を設立しました。本年5月には同社が開業サポートを行った第1号案件であるメディカルチャート登美ヶ丘(奈良市)がオープンしました。



「eternity」外観



「eternity」内観

### (海外関連)

#### －米国で最先端の研究施設を建設－

大林USA傘下のEWハウエルが、米国エネルギー省のブルックヘブン国立研究所ナノマテリアルセンター新築工事を手掛けました。ニューヨーク州に建設された同センターは、最先端のナノテク技術を活用し、エネルギー効率のよい素材の開発や化石燃料の代替エネルギー源の研究を行う施設です。ナノテク研究分野では米国の5大研究所の一つに数えられ、全米から年間約300人も研究者がこの施設を利用する予定です。曲線の屋根やガラスを多用した外観が印象的な2階建て、延床面積8,800m<sup>2</sup>の同センターには、クリーンルームのほか様々な最新鋭の研究設備が設置されています。

#### －ベトナムに現地法人を設立－

成長著しいベトナムにおいて、日系ゼネコンとして初めて、100%出資現地法人となる大林ベトナムを設立しました。今後も海外の各拠点において、ローカル化による中長期的な収益性の向上を図るとともに、当社グループが持つノウハウを駆使してお客様のニーズに応えていきます。



ブルックヘブン国立研究所  
ナノマテリアルセンター 外観  
(Copyright Amiaga Photographers)



内観  
(Copyright Amiaga Photographers)



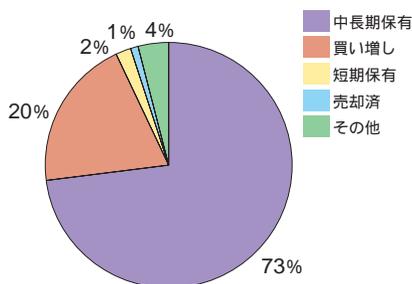


## 株主アンケートの集計結果について

株主の皆様とのコミュニケーションを深め、そのご意見を経営に反映させていくことが重要であると考え、昨年12月に第3回株主アンケートを実施いたしました。多数の株主の皆様からご回答いただくとともに、貴重なご意見を頂戴いたしましたことを、深く感謝申し上げます。その集計結果の一部をご報告いたします。（回答数 2,408通）

今後とも、株主の皆様からの貴重なご意見、ご要望を経営に活かしていく所存ですので、末永くご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

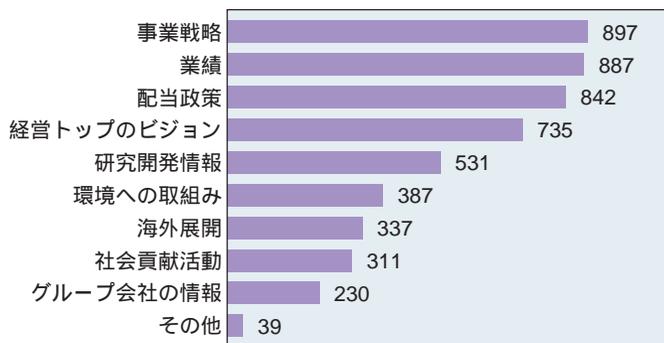
当社の株式について、今後どのようにお考えですか？



当社株式の保有理由をお教え下さい。（複数回答）



当社について知りたい情報は何ですか？（複数回答）



「自由意見欄」に寄せられたご意見

延べ1,100人を超える株主様からご意見を頂戴しました。その主だったものを以下に紹介いたします。

< 談合問題について >

- ・コンプライアンスの徹底を図り、談合行為を根絶してほしい。…161人
- ・誠に残念、遺憾、ショックである。二度とこのような行為を… 77人  
しないでほしい。
- ・談合等監視プログラムなど談合根絶に向けた取組みは評価したい。… 68人
- ・談合行為根絶宣言やその体制が絵に描いた餅ではなく、有効に機能するよう確実に実行、運用するべきである。… 50人

< 経営全般について >

- ・更なる業績の向上、今後のより一層の発展を期待している。…152人
- ・技術革新や技術力向上を図り、つねに業界をリードする企業であってほしい。… 51人
- ・業績を更に向上させ、増配に努めてほしい。… 32人
- ・株価を上げる努力をしてほしい。… 25人

## 取締役及び監査役

(平成19年3月31日現在)

代表取締役会長	大 林 剛 郎
代表取締役社長	大 脇 村 典 夫
1 代表取締役副社長	上 原 忠 史
代表取締役副社長	野 間 暎 史
代表取締役副社長	原 義 孝 久
専務取締役	大 林 芳 久
専務取締役	高 木 嗣 郎
1 専務取締役	伊 藤 住 吉
1 専務取締役	中 谷 章 平
専務取締役	田 保 収
専務取締役	長 恵 祥
常勤監査役	西 村 正 六
常勤監査役	安 井 俊 三
2 監査役	津 田 禎 和
2 監査役	松 尾 政 幸
2 監査役	松 下 正 幸

(注) 1は、平成19年3月31日付けで当社取締役を辞任しております。  
2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## 主要な営業所等

東京本社	東京都港区港南2丁目15番2号 〒108-8502 TEL (03)5769-1017
本店	大阪市中央区北浜東4番33号 〒540-8584 TEL (06)6946-4578
札幌支店	札幌市中央区北三条西4丁目1番地1  〒060-0003 TEL (011)210-7777
東北支店	仙台市青葉区上杉1丁目6番11号  〒980-0011 TEL (022)267-8521
横浜支店	横浜市中区弁天通2丁目22番地  〒231-0007 TEL (045)201-4131
北陸支店	新潟市中央区東大通2丁目3番28号  〒950-8528 TEL (025)246-6666
名古屋支店	名古屋市東区東桜1丁目10番19号  〒461-8506 TEL (052)961-5111
神戸支店	神戸市中央区加納町4丁目4番17号  〒650-0001 TEL (078)322-4400
広島支店	広島市中区小町1番25号  〒730-0041 TEL (082)242-5002
四国支店	高松市中央町11番11号  〒760-0007 TEL (087)831-7121
九州支店	福岡市博多区下川端町9番12号  〒812-0027 TEL (092)271-3811
技術研究所	東京都清瀬市下清戸4丁目640番地  〒204-8558 TEL (0424)95-1111
海外事務所	ロンドン、サンフランシスコ、ホノルル、北京、大連、 上海、台北、マニラ、ジャカルタ、ハノイ、ホーチミン、 プノンペン、シンガポール、クアラルンプール、バンコック、 ドバイ

## 会社の概要

創業	明治25年 1月
設立	昭和11年12月
資本金	57,752,671,801円（平成 19年3月31日現在）
	〔発行可能株式総数 1,224,335,000株〕
	〔発行済株式総数 721,509,646株〕

- 事業目的
1. 建設工事の請負
  2. 地域開発、都市開発、海洋開発、環境整備その他建設に関する事業
  3. 前2号に関する調査、測量、企画、立案、設計、監理等のエンジニアリング及びマネージメント
  4. 住宅に関する事業
  5. 不動産の売買、交換、貸借及びその仲介並びに所有、管理及び利用
  6. 道路、港湾、上下水道、庁舎、教育文化施設、廃棄物処理施設、医療施設その他公共施設等の企画、建設、保有、維持管理及び運営
  7. 土壌浄化、河川・湖沼の底質浄化、湖水・海水の水質浄化等の環境汚染の修復に関する事業並びに一般廃棄物及び産業廃棄物の収集、運搬、処理及び再生利用
  8. 発電並びに電気及び熱の供給
  9. 温室効果ガス排出権の取引に関する事業
  10. 建設機械、建設機械装置及び建設用仮設機材の製作、調達、販売及び賃貸
  11. 建設用コンクリート製品、耐火・不燃建築材料、内外装建築材料、家具及び建築用木工品の製造及び販売並びに土木建築用資材の販売
  12. 建物及び設備の保守管理の受託並びに保安警備の受託
  13. コンピュータの利用に関するソフトウェア、工業所有権及びノウハウの取得、開発、実施許諾及び販売
  14. 情報処理サービス業、情報提供サービス業及び電気通信回線の提供
  15. コンピュータ等電子事務機器の販売、賃貸及び保守管理サービス
  16. 厚生、医療、スポーツレジャーの各施設、ホテル及び飲食店の経営並びに旅行業代理店業
  17. 医療用機械器具の製造及び販売
  18. 労働者派遣事業法に基づく労働者派遣事業
  19. 総務、人事及び経理等に関する業務の受託
  20. 損害保険代理業及び自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業
  21. 造園、園芸及び植樹に関する事業
  22. 金銭の貸付、債務の保証その他の金融業
  23. 前各号に関するコンサルティング業務
  24. 前各号に関連する業務

株主数	53,364名（平成 19年3月31日現在）
従業員数	9,373名（平成 19年3月31日現在）

## 株主メモ

事業年度 ■毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 ■6月下旬

期末配当金  
受領株主確定日 ■3月31日

中間配当金  
受領株主確定日 ■9月30日

公告の方法 ■電子公告

公告掲載URL( <http://www.obayashi.co.jp/koukoku/index.html> )

( 但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、大阪市において発行する毎日新聞に掲載します。 )

株主名簿管理人 ■三菱UFJ信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 〒100-8212

同事務取扱場所 ■三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部  
大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 〒530-0004  
TEL 0120 - 094 - 777( 通話料無料 )

( なお、株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。 )

TEL 0120 - 244 - 479( 東京 )

( 通話料無料 ) 0120 - 684 - 479( 大阪 )

URL <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

同 取 次 所 ■三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店  
野村證券株式会社 全国本支店

手 数 料 ■名義書換及び新券交付...無料  
株券喪失登録の請求...請求1件につき10,500円(消費税額等を含む)  
株券1枚につき 525円(消費税額等を含む)  
単元未満株式の買取り...単元株式数当たりの売買委託手数料相当額  
を買い取った単元未満株式数で按分した額  
及びこれにかかる消費税額等の合計額

上場証券取引所 ■東京・大阪・名古屋・福岡の4証券取引所

インターネット・メールマガジン「OBAYASHI通信」のご案内  
当社の主なニュースや業績の速報などを掲載したメールマガジンを、ご希望の方に配信しております。  
配信をご希望される場合は、以下の当社ホームページからお申し込みいただけます。

申込先 [https://www.obayashi.co.jp/ir/index\\_magazine.html](https://www.obayashi.co.jp/ir/index_magazine.html)

